

魚介類病原細菌検出のためのDNAチップの開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010221

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



魚介類病原細菌検出のためのDNAチップの開発

養殖研究所 病害防除部
病原体制御研究グループ
健康管理研究グループ

研究の背景・目的

1. 魚介類養殖業の発展に伴い疾病が頻発かつ多様化しています。
2. 細菌による疾病はその種類が多く、商品サイズの魚にも感染するなど被害が甚大です。
3. これら細菌性疾病の蔓延防止のため、迅速かつ正確な診断による疾病対策の開発が強く求められています。

研究成果

1. 魚病細菌検出用のDNAチップを作成したことにより、網羅的な病原細菌の探索が可能となり、従来法と比較し迅速かつ正確な診断法が開発されまし

た。(図1)

- 現在までに海産及び淡水産養殖魚の主要な細菌性疾患全て(23種)が検出可能となりました。
- なお、この診断技術は現在特許出願中です。

波及効果

1. 疾病の早期発見、早期治療が可能となり、魚病の蔓延を防ぐことが可能となります。
2. 魚病の発生が低減することにより、消費者への安全・安心な養殖生産物の提供に繋がります。
3. これらのことから、魚介類養殖業の経営安定に貢献できます。

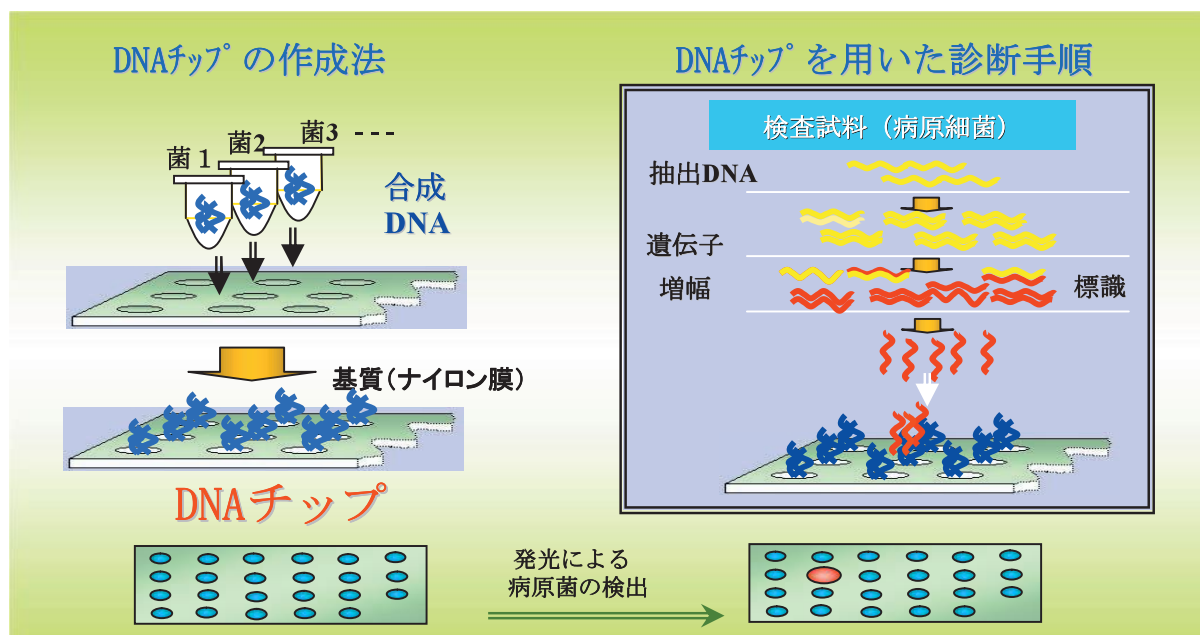


図1 魚介類病原細菌検出用DNAチップの概要